

## お茶の水女子大学での第一学期を終えて

アトリジ・セラフィン ( イギリス・ ロンドン大学ソアス )

お茶の水女子大学での最初の学期が終了したので、私は過去4か月間の私の考えと印象を共有します。幸いなことに、以前日本に住んでいたこともありましたが、カルチャーショックは問題ではありませんでしたが、新しい環境に入るのはまだ怖かったです。それにもかかわらず、寮のみんなはとても親切で、私たちを助けてくれた学生たちは、区役所への登録がスムーズに進むようにしていました。

しかし、最大の衝撃は大学に来てから受けました。誰もが非常に速く話していたので、あまり理解できませんでした。他の学生でさえ、はるかに有能で慣れているように見えました。「助けて、あまり賢くない」とパニックになり始めました。心配しやすいので、泣きそうになりました。

私は先生たちに迷惑をかけましたが、先生が、私が読むことができるように配布物の拡大コピーを準備してくれたことを確認しました。レッスンが始まると、私は自分自身を楽しみ始めました。私のクラスには経験豊富な学生がいましたが、彼らに遅れずについていくために、日本語がもっと上手になりたいと思うようになりました。時々、私はわからない言葉の海の中で流されてしまうように感じましたが、自身がよりよく理解できるようになることも感じました。



私は、イギリスにいた時から知っていて、長い間会っていなかった友人と日本で会いました。彼らと一緒に、私はリラックスして楽しいものを楽しむことができました（日本の女性は買い物を真剣に受け止めています）。「ポケモンセンター」に何度も行っ、初めて旅館に泊まるのを楽しみました。

大学の猫とカメに餌を与えて私のことを好きにさせ、英国では見られない日本の動物、昆虫、植物のすべてを見て楽しみました。

春休みには北海道に行っ、自然の生息地にいるタンチョウを見るつもりです。

日本の夏の蒸し暑さを忘れて、寒い場所への旅行を楽しみにしています。

次の学期に、私は多くの新しい人々と学び、成長し、出会いたいと思っています。

しばらくお待ちください。この一学期間、本当にありがとうございました。

